

「長崎市地域福祉の森」開催報告

令和5年11月11日（土）、介護の日。

介護体験学習「地域福祉の森」が4年ぶりに開催され、こどもたちが1泊2日の日程で、楽しみながら福祉を学びました。



一致団結したあと、ジャンボタクシーに乗って出発です。



今年の体験学習は「日吉自然の家」で行われました。

会場に到着後、老人ホームなどでレクリエーション運動の一つとして取り入れられている「ふうせんバレー」に挑戦です。



次は、サバイバルメシづくりに挑戦です。災害がおこって電気やガスが使えなくても、この調理方法を覚えていれば、被災して困っているお年寄りの方などに、ごはんを提供することができるかもしれませんね。



2日目は、車いすに挑戦です。最初は動かすのに苦労していましたが、しばらくすると上手にあやつれるようになりました。

少しの段差でも障害になることがわかりました。



最後は、高齢者疑似体験装具「おいたろう」をつけ、お年寄りの方の生活を体験しました。おもいやサポーターをつけると体が思いどおりに動かないことがわかり、どのように援助したらお年寄りの方が安全に生活できるか学ぶことができました。